

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	多摩湖駅伝大会事業			
担当部署・課長名	社会教育 課	生涯学習 係	課長名	高田匡章

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進	施策番号	1 - 5	-
	総合計画書 (ページ)	43	

予算名	款 10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	事業 3	スポーツ振興事業費
-----	------	-----	-----	-------	-----	---------	------	-----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 多摩湖駅伝大会参加チーム(健康増進等の目的で多摩湖駅伝大会に参加したいと思う人たち)	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 参加チーム数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 上限チーム数に近いチーム数の参加を維持する。(コースの設定上、参加チームが大幅に増加すると運営に支障がでるため)	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 参加チーム数/参加チーム数上限(450チーム)
	③ そのために何をしましたか。 ・大会ホームページの作成 ・都内各区市町村スポーツ振興課への広報 ・西武鉄道 西武新宿線内の中吊り広告の掲示 ・多摩都市モノレールの各駅にポスターの掲示 ・陸上競技大会をまとめたサイト(RUNNET)からのインターネットによる申込 ・前回参加者及び都内高校陸上部に大会要項を送付	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) インターネットでの申込については2ヶ月間行った

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	チーム	470	400	495	/
	成果指標	②の数値	%	104.4%	88.9%	110%	/
	目 標	②の目標値	%	/	/	100	/
		目標設定の考え方	参加上限チーム数の限界を常に目標とする。				
活動指標	③の数値	カ月	2	2	2	/	

3 経費	事業費(実績)		円	1,733,307	2,146,893	2,114,192	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,733,307	1,081,799	1,057,192	
		特定財源	円		1,065,094	1,057,000	
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
	職員人件費(再任用以外)	円	8,267,000	8,253,000	8,244,000		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	10,000,307	10,399,893	10,358,192		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 スポーツ振興を目的に平成2年から開始されている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 当初と比べコース等の変更がある。また参加者は開始当初と比べて増加している。

仕 事 の 内 容	多摩湖駅伝大会事業			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田匡章

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩湖周回コースについては、陸上競技に本格的に取り組んでいるランナーが多い。 ・今年度の大会は1位から5位まで自衛隊のチームであった。 			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組んだ	取組手法	②実行委員会、③事業協力、⑥情報提供（広告媒体：電車内中吊り）	
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
	・来年度については、コースの変更を余儀なくされるため、今年度以上に多方面からの協力が必要となる。			
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	予算作成時（平成30年9月）までに31年度コースを確定すること			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	3案まで絞り、主催者会議を行ったが、コースの決定はまだ行われていない。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	堰堤補強工事の進捗状況を確認した結果。平成31年度は新しいコースで行わねばならないことが確定したので、平成31年度は新しいコースの速やかな決定及びその準備に取り組む必要がある。			
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	すでに3案まで絞っており、いずれの案も課題、行うべきことを明確にしているため、コース決定後詳細を詰めていく必要がある。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	決定するコースにもよるが、駅伝大会を安全に実施するため、警察の担当者レベルで大会開催について詳細を詰めておく必要がある。			
	(3)改革・改善案による期待成果			
	上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。